

授業科目	異文化間コミュニケーション I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	高一種免(英語) 中一種免(英語) 日本語教員		ナンバリング	EN21205J		
開講年次	3・4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	横溝 紳一郎							
授業概要	文化背景の異なる人々間のコミュニケーション、すなわち異文化間コミュニケーションの場では、文化背景の異なる人への開かれた心と態度、そして、コミュニケーション活動への積極的な参加行動が求められる。この授業は、様々なエクササイズ体験を通して、これらの態度と行動力の育成をめざす。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化背景の異なる人に対して、開かれた心と態度を持ち続けることができる。 2. 文化背景の異なる人とのコミュニケーションに、積極的に参加できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	55	0	0	45	100	
知識・理解 (DP1-1)			55				55	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						30	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)						15	15	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
異文化間コミュニケーションについて学んだことを、自分のことばで他の人に分かりやすく説明できる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化背景の異なる人に対して、開かれた心と態度を持ち続けることができる。 2. 文化背景の異なる人とのコミュニケーションに、積極的に参加できる。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション 授業の概要を説明し、履修方法や授業の目的、達成目安、評価の内容と方法を理解する。 「異文化」の定義について学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
2	異文化間コミュニケーションとは1 「新しい常識発見」「ステレオタイプ」「異文化理解への態度」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
3	異文化間コミュニケーションとは2 「日本文化の紹介方法」「文化とは何か」「コミュニケーションの定義」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
4	コミュニケーション・スタイル1 「コンテキスト」「双方向コミュニケーション」「ターンテークキング」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
5	コミュニケーション・スタイル2 「自己開示」「パラ言語」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
6	言語コミュニケーション1 「ほめ方」「叱り方」「謝り方」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
7	言語コミュニケーション2 「自己紹介」「誘い方」「断り方」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
8	非言語コミュニケーション1 「表情」「アイコンタクト」「しぐさとジェスチャー」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
9	非言語コミュニケーション2 「タッチング」「空間と対人距離」「時間の感覚」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
10	価値観1 「ことわざ」「異文化ケース・スタディ」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
11	価値観2 「基本価値志向」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
12	自分を知る1 「対立管理スタイル」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
13	自分を知る2 「異文化適応力チェック」「共感(エンパシー)」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30

14	異文化コミュニケーション・スキル 1 「D.I.E.メソッド」「アサーティブ・コミュニケーション」「相手の話を聞く(エポケー)」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。	講義	復習：該当部分の復習	30
15	異文化コミュニケーション・スキル、まとめ 「相手を責めない(アイ・ステートメント)」「アサーション」について、エクササイズと話し合いを通して学ぶ。 この授業のまとめを行う。	講義	復習：該当部分の復習	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	積極的な参加が必要不可欠です。			
テキスト	『異文化コミュニケーション・ワークブック』八代京子他(三修社)(2001)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に指示します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出席と積極的な参加を重視します。(授業中の私語・スマホ使用は厳禁！) 2. 欠席1回につき、「出席を含む授業態度」が3パーセントずつ減点されます。正当な理由があり欠席・遅刻・早退する／した場合は、必ず届け出ておくこと 3. 数多くのエクササイズを体験しますので、一つ一つのエクササイズを通しての「学び」を整理しながら、授業に参加しましょう。 			

達成度評価に関するコメント	期末レポート(55%)、毎回の授業の最後に提出するふり返りシート(45%)により評価します。
---------------	--